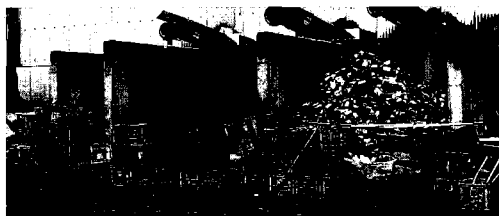


柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1991.4.1.SPRING VOL 15



ごみのリサイクル（再生利用）

私たちの日常生活においては、石油、鉱物、木材（紙）等の天然資源を原料とした、快適で便利な商品が開発され、製造、供給されることによって、ごみの発生量が増えるとともに、その質の多様化が進み処理の難しいごみも増加しています。

これからの時代に向かっては、製品として役に立ったものがごみになった時に、処理が困難になったり、資源化が難しいようでは良い商品と言えないのではないのでしょうか。

今私たちに求められているのは、地球上の天然資源を極力延命化させ、また地球環境を保全する見地からも、ごみの有効利用を図ることであり、清掃行政の重要な施策でもあると考えます。

柳泉園組合を構成している四市の中で、また、当組合においても資源回収によるごみの減量化を行い、

柳泉園組合管理者 末木達男

ごみのリサイクル（再生利用）を進めておりますが、ごみを再生利用し活用（循環）することは、省エネルギーの効果が大きく、その結果、有限な資源の消費が抑えられ、資源の有効利用を図ることと地球環境を保全することにつながります。

このようなことから、廃棄物を資源としてとらえる方向に意識を転換し、廃棄物の発生を抑えて、資源化、再生利用の推進、中間処理の徹底、処理困難物の有料化など、清掃行政全般にわたって見直され、近いうちに廃棄物に関する法律が改正される動きがあります。

私たち一人一人の協力と努力によって、ごみの減量化、再資源化に対し、住民、事業者、行政が一体となって、それぞれの役割を果たすことが、ますます重要になるものと思います。

リサイクルの効果

2年前の柳泉園NEWS (VOL.11) において、ごみのリサイクルがますます必要不可欠なることを予測しておりますが、限りある資源を大切に、むだに消費しないように、排出するごみは極力、再利用、再資源化するように努めることが必要です。

リサイクル (Recycle) を定義づけてみると、「再生利用することで、ごみを再生利用して有用に活用すること。天然資源を利用して製品を作り、消費して、再び資源として再循環すること。」になると思います。

製品を作る時に、ごみを再資源化した場合とバージン材料とのエネルギー消費量を比較し、その効果を列記すると次のようになるといわれています。

○ アルミ缶の場合

アルミニウムの空き缶からアルミの地金を製造すると電気エネルギーの節約は約97%です。

○ スチール (鉄) 缶の場合

スチールの空き缶から鉄の地金を製造するとエネルギーの節約は約65%です。

○ ガラスびんの場合

空びんをガラスびんの原料 (カレット) に使用するとエネルギーの節約は約25%です。

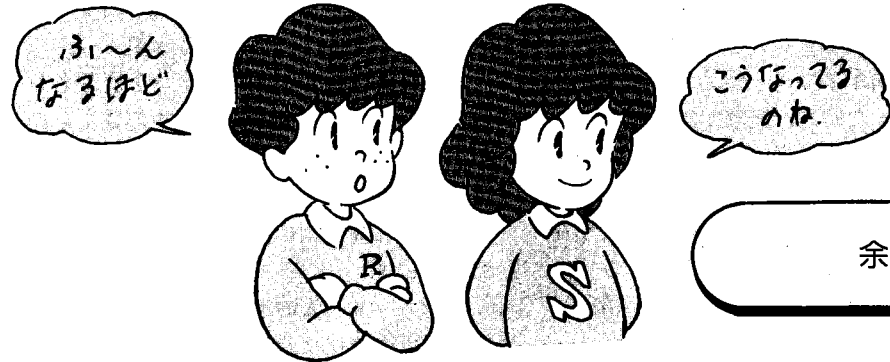
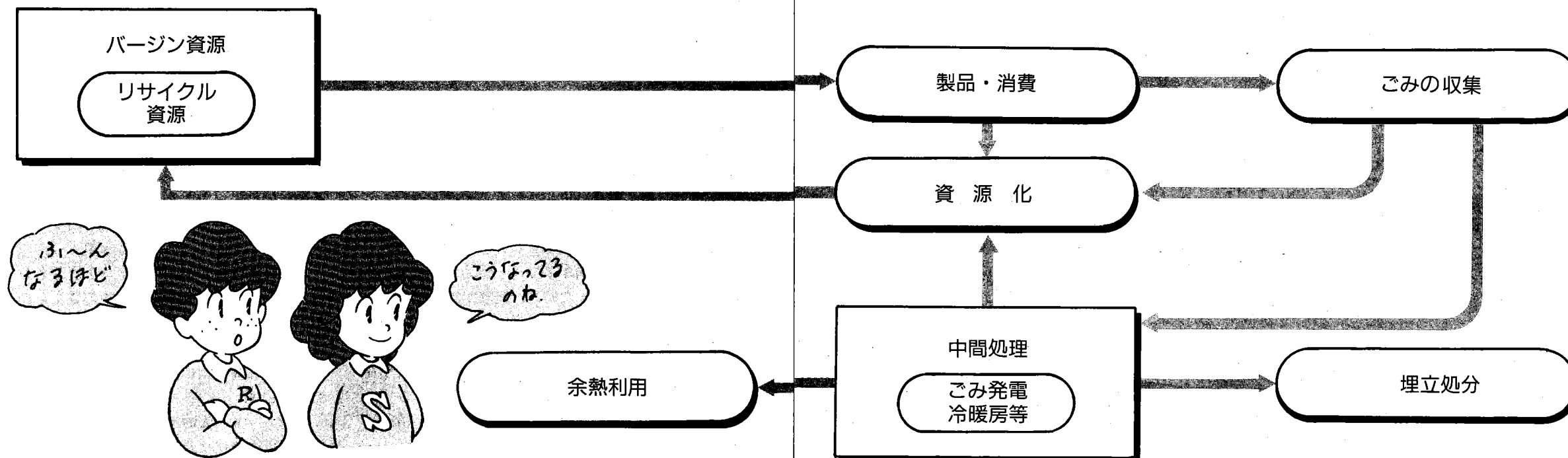
○ 古紙の場合

古紙を再生利用して紙をつくると、3分の2～5分の4程度エネルギーの節約になります。

また、古紙1トン (1,000kg) は、高さ8m、直径14cmの立木20本分になります。1軒当たりの家庭で読まれる新聞の量が、1年間で約70kgの重さになるといわれ、立木に換算すると1本半位になるそうです。

このように、ごみのリサイクル効果としては、省エネルギー、省資源の効果をはじめ、さらにごみの減量化にもつながり、化石燃料の消費を抑え、地球環境の保全にも大きな効果があります。

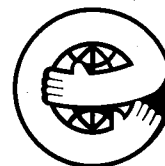
ごみのリサイクル



個人で取り組む環境対策

個人で取り組めそうな地球環境対策といわれていることを紹介します。

- ① リサイクルのできる商品を購入 (使用) する。
- ② エコマーク (Ecology Mark) の製品を使用する。
- ③ 野菜くずや草木類の有機物は、土へかえす。
- ④ 不必要な包装は、断るよう努める。
- ⑤ 雑誌類、空き缶などは、再利用 (資源回収) へ回すように「資源ごみ」として排出する。
- ⑥ リサイクル製品を購入する。
- ⑦ 電気製品は、省エネタイプのもので必要以上に大型のものを購入しない。
- ⑧ 冷暖房類は、必要以上に使用しない。
- ⑨ 耐久性のある商品を購入し、大事に扱って長期間使用するように努める。



「エコマーク」とは、資源を再利用した商品、環境に対する負担を軽くした商品につけられています。

柳泉園組合の再資源化

柳泉園組合では、可燃ごみを焼却して、その熱で蒸気を発生し、電気を発電 (約6,000世帯分) して焼却施設等で利用したり、蒸気を温水プールの熱源に利用するなどを行っています。また、不燃ごみ、粗大ごみなどについては、再資源化できるように、当組合に搬入されるごみの中から、手選別、機械選別等によって約24%の資源回収を行っています。

しかし、再資源化して活用できるものは、ごみとして位置付けずあくまでも有価物として、当組合に搬入される前に、住民が排出する時点で分別して収集を行い回収される方が、清潔であると同時に有価物としての価値があり、さらに再生資源として利用される割合が多くなるものと思います。

関係四市内においても、資源回収、集団回収等が行われておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平成元年度決算報告



平成元年度決算より

平成元年度の柳泉園組合一般会計歳入歳出決算が、平成2年12月3日に開かれた組合議会第4回定例会において認定されました。

これによると、歳入が17億7,702万1千円（前年度比2.6%増）、歳出が17億815万6千円（前年度比6.7%増）となりました。

平成元年度歳入内訳

歳入（収入）総額17億7,702万1千円は、前年度17億3,180万2千円と比較して、4,521万9千円（2.6%）の増になりました。内訳は次のとおりです。

●分担金及び負担金

柳泉園組合を構成する四市が負担する負担金として14億5,334万2千円。前年度14億4,167万7千円と比較して、1,166万5千円（0.8%）の増です。

●使用料及び手数料

温水プール関係の体育施設等の使用料と焼却手数料が1億4,449万9千円。前年度1億3,802万1千円と比較して、647万8千円（4.7%）の増です。

●財産収入

特定の事業を行うための基金に対する預金利子397万4千円。前年度293万円と比較して、104万4千円（35.6%）の増です。

●繰入金

職員退職給与基金、環境整備基金からの繰入金として1,632万1千円。前年度1,658万1千円と比較して、26万円（1.6%）の減です。

●繰越金

前年度の繰越金1億3,129万8千円。前年度7,745万4千円と比較して、5,384万4千円（69.5%）の増です。

●諸収入

歳計現金の預金利子、し尿処理受託料、その他の収入が2,758万7千円。前年度3,023万9千円と比較して、265万2千円（8.8%）の減です。

平成元年度歳出内訳

歳出（支出）総額17億815万6千円は、前年度16億50万5千円と比較して、1億765万1千円（6.7%）の増になりました。主な使い道は次のとおりです。

●議会費

組合議会の運営経費に728万4千円。前年度718万4千円と比較して、10万円（1.4%）の増です。

●総務費

組合の共通する事務に要した経費1億7,735万円。前年度1億7,235万1千円と比較して、499万9千円（2.9%）の増。主に人件費が増えました。

●ごみ処理費

ごみ処理施設の運転、定期点検整備などの経費に7億5,722万2千円。前年度6億7,925万円と比較して、7,797万2千円（11.5%）の増。これは主に人件費、業務委託料、維持補修費等が増えました。

●し尿処理費

し尿処理施設の運転、定期点検整備などの経費に1億6,330万1千円。前年度1億9,150万3千円と比較して、2,820万2千円（14.7%）の減。これは主に維持補修費、光熱水費、建設工事費等が減りました。

●環境対策費

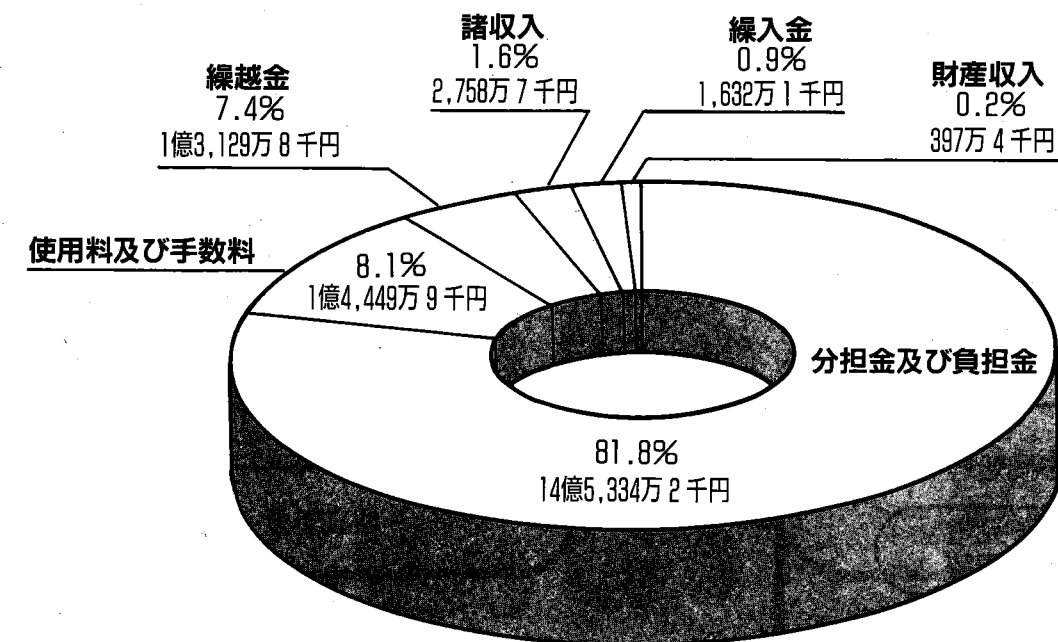
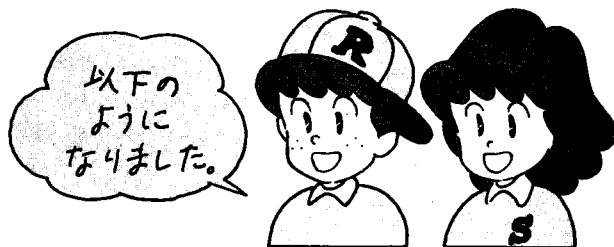
野球場、テニスコート及び温水プール関係の維持管理の経費やごみ、し尿処理施設からの排ガス、排水の分析関係などの経費に1億4,134万1千円。前年度1億4,482万9千円と比較して、348万8千円（2.4%）の減です。

●公債費

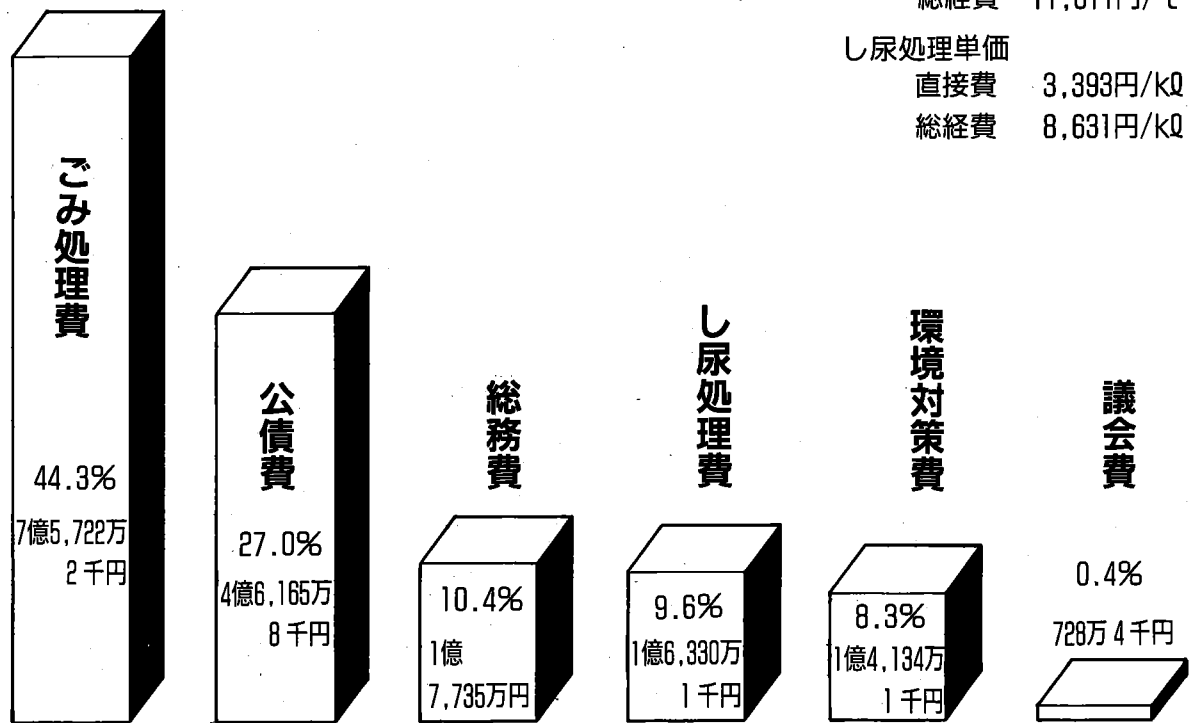
組合債（借入金）の償還元金は、2億7,192万3千円。前年度2億42万円と比較して、7,150万3千円（35.7%）の増。償還利子は、1億8,973万5千円。前年度2億496万6千円と比較して、1,523万1千円（7.4%）の減です。

なお、平成元年度末現在の未償還元金は、26億5,767万5千円になっています。

歳入総額
17億7,702万1千円
(前年度比2.6%増)



歳出総額
17億815万6千円
(前年度比6.7%増)



ごみ処理単価	
直接費	6,918円/t
総経費	11,811円/t
し尿処理単価	
直接費	3,393円/kQ
総経費	8,631円/kQ

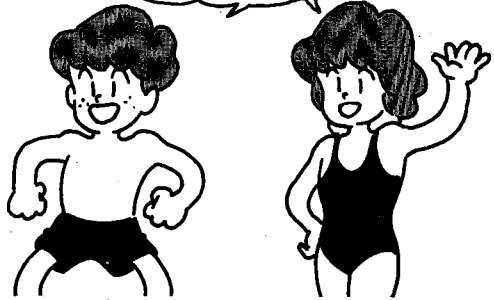
enjoy sports

エンジョイスポーツ

体育施設

体育施設の案内です。

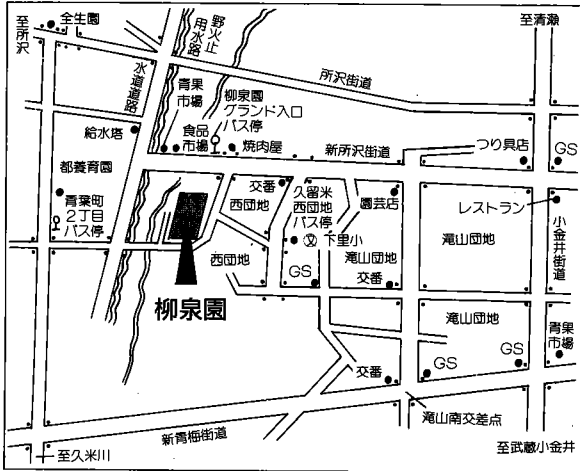
みんな来てねえ!



- 野球場 4月1日～11月30日
- テニス 1月1日～12月31日
- プール 1月4日～12月28日

☎0424-73-3121

へ申し込んで下さい。

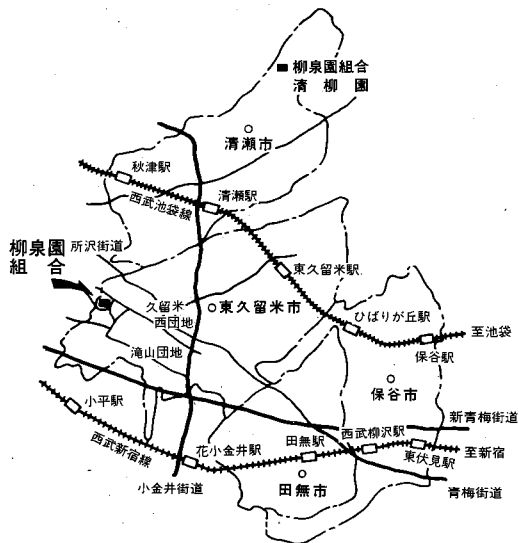


Message

組合からのお願い

- ①ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみを処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1トン処理するのに約6,900円かかり、処理の他に議会費、総務費、環境対策費、その他公害対策費用等を加えると1トン処理するのに約12,000円かかってしまいます。ごみが少なくなるとこの費用を他の行政費用に回すことができます。
- ②ごみを出す時は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないと施設を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にも費用がかかります。
- ③スプレー缶・簡易ガスボンベ等は、内容物を十分出し切ったうえ、穴をあけてから出してください。なお穴をあける際には、屋外など火気等危険のない場所で行い、顔など身体にかからないように注意して下さい。また、関係四市では有害ごみの分別回収をステーション収集方式、あるいは電気店等の拠点収集方式で市民の皆様をお願いします。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。



管内人口	1,209,685人
世帯数	500,336世帯
人口	300,336人